朝霞市立朝霞第十小学校

朝十小だより

令和5年度　3月号
〒351－0023
朝霞市大字溝沼828－1
TEL　048－469－5443
在籍児童数　761名

学校教育目標　意欲ある子・考える子・健やかな子
～　豊かな学びで楽しさと笑顔あふれる朝霞十小　～

みんなが言えるといいね

校　長　　岩　﨑　英　雄

２月は、例年以上に寒暖の差が激しく、御家庭でも体調管理がとても大変だったと思います。暦の上では「啓蟄」（けいちつ）を迎え、校内の木々も春の準備が進み、春はもう目の前まできています。ちょうど１年前の３月はWBCでの侍Japanの活躍で日本中が盛り上がりましたが、１年が経つのは本当に早いなと感じています。

１年生　糸車体験

話は変わりますが、１月３１日～２月２日の３日間、朝霞三中の１年生数名が職場体験学習として十小で活動しました。最終日の朝、門の前でのあいさつ運動を終えると１人の生徒が「校長先生、４７人でした。」と伝えてくれました。これは、前日のお話朝会での私の話を受けての言葉でした。話の内容は、『あいさつができる人は、「ありがとう」や「ごめんなさい」もしっかり言えます。』と言うものでした。これまでの教員生活を振り返る中で、「おはようございます」などのあいさつをきちんと言える子は、誰に対してもお礼やお詫びの言葉を自然に伝えられる子が多かったです。当然ですが、その反対もあてはまります。そのことも踏まえて、子供たちにはこのように伝えました。「あいさつは、いろいろなことに繋がります。おはようございますなどのあいさつが言える人は、「ありがとう」や「ごめんなさい」も言える人です。これは一生続きます。」元気に挨拶する子、小さな声の子、コクリと頭だけを下げる子、いろいろな子がいます。私はこの２年間、毎日２ヶ所ある門のどちらかに立ってあいさつをしています。よく「高学年になるとあいさつできなくて…」とか「思春期になると言えなくなりますね。」と言ったことを耳にしますが、実はそうではありません。実際には１年生から６年生まで、どの学年にも一定数、口を閉ざしたまま通り過ぎる子が何人もいます。

児童集会での引継式

「２つの門を合わせると、だいたい１００人くらいの人があいさつをしてくれないですね。」と話したことを受けて、三中の生徒があいさつをしながら数えていたのが「４７人」と言う数でした。「向こうの門も合わせると１００人くらいになりそうですね。校長先生すごいですね！」と驚いていましたが、もちろん私は数えたことはありません。（残念ですが、お話朝会の次の日でこの人数ですので、それまでは、もう少し多かったということになりますね(^_^)）そして、最後にその生徒たちは「昨日の話を聞いて、あいさつはいろいろなことに繋がってると本当に思いました。実際に、自分の周りの友達も当てはまってるなと感じます。三中に戻ったら、あいさつをしっかり言って大切さを広げていきたいです。」と話してくれました。今は、あいさつが言えるようになったり、声が大きくなった子も増えてきました。御家庭でも、ちょっとだけ気にしていただけたらと思います。

さて、２月もたくさんの行事や活動がありました。１年生は、博物館の出前授業で「糸車」の体験学習。４年生は、西武ライオンズの元選手２名が来校してのベースボールチャレンジ。（雪の影響で、2クラスは3月に実施します）そして、６年生は卒業へのカウントダウンが始まり、先日の児童集会では縦割り活動の引継式を行い、５年生にバトンを繋ぎました。１年間、縦割り遊びなどを中心にたくさんの楽しい企画を考えてくれた６年生の皆さん、ありがとうございました。あと１ヶ月、どの学年も健康で、充実した毎日を過ごしてほしいと願っています。

４年生　音楽朝会での発表